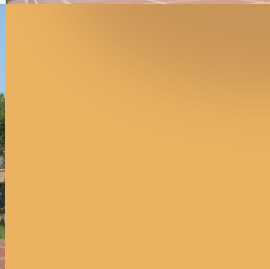


兵庫県立大学大学院社会科学研究科

Graduate School of Social Sciences, University of Hyogo

経営学専攻

Department of Business Administration



兵庫県立大学
UNIVERSITY OF HYOGO

ごあいさつ

新型コロナウイルスのパンデミックも終焉を迎えつつある中、この数年間で大きな社会変化が起こりました。「オンライン技術」の発展です。それまでに開発・蓄積された技術が、このコロナ禍において一気に花開いたといっても過言ではないでしょう。こうした社会状況の変化に対してビジネス界も素早く対応していったことは周知の事実ですが、その背景には先人達の経営学の叡智が生かされています。経営学の叡智があったからこそ、企業や団体はこれらの逆行に耐え、乗り切ることができたといえるでしょう。

社会科学研究所経営学専攻は、神戸商科大学大学院経営学研究科の歴史を引き継ぐ形で2021年に設立され、新たなステップに進んでいます。本経営学専攻は、博士前期課程、博士後期課程を備え、研究者の養成はもちろん高度な専門知識を備え社会において活躍できる人材の育成を目的としています。そのために求められる多種多様な科目、そして教員がおり、専門知識と幅広い教養の獲得が可能になっています。加えて、本経営学専攻では研究について院生と教員、院生同士が綿密にコミュニケーションを取りながら進めて行く「少数精鋭主義」があることも大きな特色です。

まだまだ先行き不透明な時代、その時代を生きるための必須の知識としての「経営学」を、この緑溢れる閑静な神戸商科キャンパスで一緒に学んでいきましょう。

経営学専攻長

伊藤 克広

社会科学研究所の目的

経済学及び経営学を中心とする研究を深め、その成果に立脚して専門知識と技能を授けるとともに倫理観を涵養して、研究者、高度専門職業人をはじめ社会に有為な人材を養成することを通じて社会の負託に応えることを教育研究上の目的としています。

経営学専攻の目的

経営学専攻は、既存の経営学研究科を引き継ぐもので、経営学をディシプリンとし、併せてその関連分野の学修を可能にすることによって、研究者又はその他の高度な研究能力を必要とする業務に従事する者の養成を目的としています。

博士前期課程

養成する人材像：経営学とその関連分野における研究能力又は高度の専門性が求められる職業を担うための卓越した能力を有する人材

教育研究上の目的：経営学とその関連分野の専門知識と技能を修得した上で、学術的に意義のある課題を発見し、理論的枠組みを用いて論理的に分析する能力を有し、修得した専門知識と技能を社会に還元できる人材を養成すること

アドミッション・ポリシー (学生受け入れの方針)

経営学とその関連分野における研究能力又は高度の専門性が求められる職業を担うための卓越した能力を有する人材を目指す者を受け入れるため、この分野において学士課程で修得されるべき専門知識と技能を身につけており、研究を論理的に進めることができる思考力及び語学力を有し、かつ、修得した専門知識と技能を社会に還元しようという意欲を持つ者を選抜するべく入学試験を実施します。

カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成の方針)

経営学とその関連分野における研究能力又は高度の専門性が求められる職業を担うための卓越した能力を身につけるために必要な授業科目を、当該分野の基礎的な知識と技能、研究方法論を修得するための「共通科目」、高度な知識と技能を修得するための「主専攻科目」、学位論文を作成できるように研究指導を行う「研究演習科目」に分けて配置することにより、卓越した能力を養うことを可能にします。

ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針)

経営学とその関連分野の専門知識と技能を修得した上で、学術的に意義のある課題を発見し、理論的枠組みを用いて論理的に分析する能力を有し、修得した専門知識と技能を社会に還元できる者に、修士（経営学）の学位を授与します。

博士後期課程

養成する人材像：経営学について研究者として自立して研究活動を行うことができる、又はその他の高度に専門的な業務に従事するために必要な研究能力を有する人材

教育研究上の目的：経営学の体系的な専門知識と高度な技能を修得した上で、学術的に意義があり、かつ新規性のある課題を発見し、新しい理論的枠組みを用いて論理的に分析する能力を有し、修得した専門知識と技能を社会に還元できる人材を養成すること

アドミッション・ポリシー

(学生受け入れの方針)

経営学の体系的な専門知識と高度な技能を修得し、経営学について研究者として自立して研究活動を行うことができる、又はその他の高度に専門的な業務に従事するために必要な研究能力を有する人材を目指す者を受け入れるため、この分野において博士前期課程で修得されるべき専門知識と技能を身につけており、研究倫理を遵守し、研究成果を世界に発信できる語学力を有し、かつ、修得した専門知識と技能を社会に還元しようという意欲を持つ者を選抜するべく入学試験を実施します。

カリキュラム・ポリシー

(教育課程の編成の方針)

経営学について研究者として自立して研究活動を行うことができる、又はその他の高度に専門的な業務に従事するために必要な研究能力を身につけるために必要な授業科目を、経営学の最先端の知識と技能を修得するための「専攻科目」、修得した専門知識と技能を社会に還元できるようにするために教育に関する実践的な知識を修得する機会を提供する「教育実践科目」、学位論文を作成できるように研究指導を行う「研究演習科目」に分けて配置することにより、世界に通用する能力を養うことを可能にします。

ディプロマ・ポリシー

(学位授与の方針)

経営学の体系的な専門知識と高度な技能を修得した上で、学術的に意義があり、かつ新規性のある課題を発見し、新しい理論的枠組みを用いて論理的に分析する能力を有し、修得した専門知識と技能を社会に還元できる者に、博士（経営学）の学位を授与します。

修了後の進路

博士前期課程

博士後期課程への進学、企業その他の組織の経営管理部門、コンサルティング会社、官公庁、起業家等

博士後期課程

大学教員、公的研究機関・民間シンクタンク・国際機関等の研究者、企業その他の組織の経営を担う中核的人材等



担当教員と担当科目

博士前期課程

専任教員	担 当 科 目	専任教員	担 当 科 目	専任教員	担 当 科 目
伊藤 克広	スポーツマネジメント研究 演習Ⅰ・Ⅱ	兵頭和花子	演習Ⅰ・Ⅱ	都築洋一郎	会計学研究基礎
加納 郁也	演習Ⅰ・Ⅱ	松村 浩貴	演習Ⅰ・Ⅱ	中村 友哉	経営学研究基礎 質的研究方法論
川上 昌直	財務マネジメント研究 演習Ⅰ・Ⅱ	三崎 秀央	演習Ⅰ・Ⅱ	濱田 洋	法学研究 演習Ⅰ・Ⅱ
小宮 一高	マーケティング研究 質的研究方法論 演習Ⅰ・Ⅱ	山口 隆英	質的研究方法論 演習Ⅰ・Ⅱ	藤川 健	中小企業研究
下中 和人	法学研究 法学特殊研究 演習Ⅰ・Ⅱ	浦山 剛史	会計学研究基礎	森谷 義哉	量的研究方法論
高階 利徳	組織行動研究 演習Ⅰ・Ⅱ	上瀬 昭司	マーケティング研究 研究基礎 質的研究方法論		
田中 隆	コンサルティングプロジェクト 演習Ⅰ・Ⅱ	辻川 尚起	会計学研究		

兼任教員	担 当 科 目	兼任教員	担 当 科 目	兼任教員	担 当 科 目
秋山 秀一	質的研究方法論	川嶋 宏彰	情報科学研究基礎	宮崎 修一	情報科学研究基礎
内平 隆之	フィールドワーク 方法論	當間 克雄	経営戦略研究 質的研究方法論	黒野 秀樹	コンサルティング プロジェクト
大島 裕明	情報科学研究基礎	藤江 哲也	情報科学研究基礎		



博士後期課程

専任教員	担 当 科 目	専任教員	担 当 科 目	専任教員	担 当 科 目
秋山 秀一	演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	瓦田 沙季	公会計特殊研究 演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	林 昌彦	財務会計特殊研究 演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
伊藤 克広	スポーツマネジメント特殊研究 演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	小宮 一高	マーケティング特 殊研究 演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	兵頭和花子	授業設計実習 演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
内田 康郎	演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	末弘 美樹	異文化マネジメン ト特殊研究	三崎 秀央	経営組織特殊研究 演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
貝瀬 徹	経営統計特殊研究 演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	高階 利徳	授業設計実習 演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	山口 隆英	国際経営特殊研究 演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
加納 郁也	組織行動特殊研究 演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	筒井 孝子	医療・介護マネジ メント特殊研究 演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	辻川 尚起	会計システム特殊 研究
川上 昌直	財務マネジメント 特殊研究 演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	當間 克雄	経営戦略特殊研究 演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	藤川 健	中小企業特殊研究

兼任教員	担当科目
福田 直樹	管理会計特殊研究

開講科目

博士前期課程

共通科目	主 専 攻 基 礎 科 目	経営学研究 基礎	会計学研究 基礎	マーケティング 研究基礎	情報科学研 究基礎		
	研究支援 科 目	量的研究方 法論	質的研究方 法論	フィールド ワーク方法論			
主 専 攻 科 目		コンサルティング プロジェクト	経営戦略研究	地域マネジ メント研究	中小企業研究	スポーツマネ ジメント研究	法学研究
		経営組織研究	組織行動研究	マーケティ ング研究	財務マネジ メント研究	会計学研究	
研究演習科目		演習Ⅰ・Ⅱ					

博士後期課程

専攻科目	経営戦略特殊研究	会計システム特殊研究
	経営組織特殊研究	国際経営特殊研究
	組織行動特殊研究	異文化マネジメント特殊研究
	マーケティング特殊研究	中小企業特殊研究
	財務マネジメント特殊研究	スポーツマネジメント特殊研究
	財務会計特殊研究	医療・介護マネジメント特殊研究
	管理会計特殊研究	法学特殊研究
	公会計特殊研究	経営統計特殊研究
教育実践科目	授業設計実習	
研究演習科目	演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	

入試情報

出願・入試日程・選抜方法（詳細は学生募集要項で確認してください。）

博士前期課程

	出願期間	入学検査日	選抜方法
推薦選抜（7月）	2023年6月9日（金） ～6月16日（金）	2023年7月1日（土）	口述試験
一般選抜（8月）	2023年8月3日（木） ～8月10日（木）	2023年8月26日（土）	筆記試験（英語） 筆記試験（経営学） 口述試験
外国人留学生特別選抜（8月）	2023年8月3日（木） ～8月10日（木）	2023年8月26日（土）	筆記試験（英語） 筆記試験（経営学） 口述試験
学術交流協定校特別推薦選抜	2023年10月20日（金） ～10月27日（金）	2023年11月11日（土）	口述試験
推薦選抜（2月）	2024年1月26日（金） ～2月2日（金）	2024年2月17日（土）	口述試験
一般選抜（2月）	2024年1月26日（金） ～2月2日（金）	2024年2月17日（土）	筆記試験（英語） 筆記試験（経営学） 口述試験
外国人留学生特別選抜（2月）	2024年1月26日（金） ～2月2日（金）	2024年2月17日（土）	筆記試験（英語） 筆記試験（経営学） 口述試験

博士後期課程

	出 願 期 間	入学審査日	選抜方法
一 般 選 抜	2024年1月26日（金） ～2月2日（金）	2024年2月17日（土）	筆記試験（英語） 口述試験
外国人留学生特別選抜	2024年1月26日（金） ～2月2日（金）	2024年2月17日（土）	筆記試験（英語） 口述試験

※選抜は、上記の選抜方法と出願書類を総合して行います。

※博士前期課程の筆記試験（経営学）は経営学、商学、会計学に関わる複数の問題の中から2問を選択して解答。

募集人員

	募 集 人 員	取得できる学位
博士前期課程	5名 (一般選抜及び外国人留学生特別選抜並びに 推薦選抜（学術交流協定校特別推薦選抜を含む。）の合計)	修士（経営学）
博士後期課程	5名 (一般選抜及び外国人留学生特別選抜の合計)	博士（経営学）

学 費 等

博士前期課程・博士後期課程

入学料及び授業料等

現行の入学料等は次のとおりです。なお、改定されたときは、その金額によります。（2022年4月1日現在）

区 分		入学手続時	5月	10月	合 計
入 学 料	甲（県内）	282,000円	—	—	282,000円
	乙（県外）	423,000円	—	—	423,000円
授 業 料		—	267,900円	267,900円	535,800円

(甲) 入学する者又はその配偶者若しくは1親等の親族が、入学の日の1年前から引き続き兵庫県内に住所を有する場合及び兵庫県立大学学部から引き続き入学する場合。

また、外国人留学生特別選抜による入学者は、住所に関係なく（甲）の入学料となります。

(乙) 甲に該当しない場合

※神商会後援会費、学術研究会等の諸会費として、合計72,000円（博士前期課程）、合計82,000円（博士後期課程）が必要となります。また、経営学専攻教育充実費（博士前期課程のみ）70,000円が必要になります。なお、改定されたときは、その金額によります。また、兵庫県立大学学部又は大学院から引き続き入学するときは、支払済みのものが減額されます。

- 山陽新幹線新神戸駅から神戸市営地下鉄で25分
- JR三ノ宮駅・阪神・阪急神戸三宮駅から神戸市営地下鉄で22分
- JR舞子駅・山陽電鉄舞子公園駅から
神戸市バス・山陽バス53、54系統で27分

- 神戸市営地下鉄 西神・山手線「学園都市駅」下車徒歩10分

お問合せ先

兵庫県立大学大学院
社会科学部研究科経営学専攻

兵庫県立大学神戸商科キャンパス学務課
〒651-2197 神戸市西区学園西町8丁目2-1
TEL.078-794-5209
E-mail:g3s@ofc.u-hyogo.ac.jp
<https://www.u-hyogo.ac.jp/g3s/>